



新丸山ダム建設DX 第4回実証実験

国土交通省 中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
新丸山ダム本体建設工事
大林・大本・市川特定建設工事共同企業体

令和7年10月1日、新丸山ダム本体建設工事において、建設DXを活用した自律型コンクリート打設システム構築に向けて、第4回実証実験を実施しました。

今回の実験では、ダム本体におけるコンクリート打設において、第3回実証実験で確立した技術であるコンクリート運搬に用いるケーブルクレーンの自律運転に加え、新たにコンクリート締固めに用いるバイバック（油圧ショベルに大型バイブレーターを取り付けた建設機械）の遠隔・自動運転を行い実用性を確認しました。

引き続き、このような実証実験を重ね、ダム本体建設での省人化、生産性・安全性向上を目指します。 ●参加者：84人（国土交通省職員35人、工事関係者45人、報道関係者4社（4人））

【実証実験】



集中管理室(ケーブルクレーン操作)



熟練した作業員の運転技術を自律運転で再現

目標地点(コンクリート運搬・放出)



目標地点までケーブルクレーンの自律運転で揺動を抑えて運搬・放出

目標地点(締固め)



バイバックによるコンクリート締固め動作の自動化を実現

バイバック



バイバックの遠隔・自動運転（無人運転）